

感染症関連情報

感染性胃腸炎（ノロウイルス）

ノロウイルスによる胃腸炎はどのようなものですか？

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、嘔吐物を誤って気道に詰まらせたりして死亡することがあります。

ノロウイルスについてはワクチンがなく、また、治療は輸液などの対症療法に限られます。従って、皆様の周りの方々と一緒に、次の予防対策を徹底しましょう。

特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう。

「ノロウイルス」ってどんなウイルスですか？

昭和43年（1968年）に米国のオハイオ州ノーウォークという町の小学校で集団発生した急性胃腸炎の患者のふん便からウイルスが検出され、発見された土地の名前を冠してノーウォークウイルスと呼ばれました。

昭和47年（1972年）に電子顕微鏡下でその形態が明らかにされ、このウイルスがウイルスの中でも小さく、球形をしていたことから「小型球形ウイルス」の一種と考えられました。その後、非細菌性急性胃腸炎の患者からノーウォークウイルスに似た小型球形ウイルスが次々と発見されたため、一時的にノーウォークウイルスあるいはノーウォーク様ウイルス、あるいはこれらを総称して「小型球形ウイルス」と呼称していました。

ウイルスの遺伝子が詳しく調べられると、非細菌性急性胃腸炎をおこす「小型球形ウイルス」には2種類あることが分かりました。ほとんどが、ノーウォークウイルスまたはノーウォーク様ウイルスと呼ばれていたウイルスで、もう一つが札幌で発見されたサッポロウイルスまたはサッポロ様ウイルスでした。平成14年（2002年）8月、国際ウイルス分類委員会（ICTV）で、ノロウイルス属、サボウイルス属に分類することになったのです。

ノロウイルスは、表面をカップ状の窪みをもつ構造蛋白で覆われ、内部にプラス1本鎖RNAを遺伝子として持っています。ノロウイルスには多くの遺伝子の型があること、また、培養した細胞及び実験動物でウイルスを増やすことができないことから、ウイルスを分離して特定する事が困難です。特に食品中に含まれるウイルスを検出することが難しく、食中毒の原因究明や感染経路の特定を難しいものとしています。

SAITO MEDICAL GROUP



既成概念を突き抜ける私たちの強い信念と、

「患者さんと私たち、自分たちとその家族」

を象徴する2つの円が、ともに生きる姿を表現しています。

ともに生きるかい

共生会通信

VOL.76



2024.11
発行：SAITO MEDICAL GROUP
編集制作：医療法人共生会 企画広報部
〒088-3465 川上郡弟子屈町川湯温泉 4-8-30
TEL 015-483-3121
<https://saitomedical.jp/>

川湯の森病院 近況

精米所が完成

10月、これまで精米は外部に依頼していましたが、川湯の森病院の敷地内に精米所を建設しました。精米したての新鮮なお米が提供できるようになりました。



川湯の森病院

社会医療法人 明生会

医療法人社団 勝医会

医療法人 済生会 狭山厚生病院

医療法人 麻葉会 あけとクリニック

一般財団法人 慈愛会

住宅型有料老人ホーム 森の家しらかば

社会福祉法人 てつなぎ

SAITO MEDICAL GROUP

おいしい健康食レシピ

フローズンヨーグルトアイス

1. ザルにキッチンペーパーを敷き、ヨーグルトを入れて半日ほど水切りをする。
2. 生クリームを8分目位までホイップする。
3. ホイップクリームにメイプルシロップを加えて混ぜ、さらに水切りしたヨーグルトを加えて混ぜ合わせる。
4. バットに入れて、冷凍庫で1時間くらい冷やしたら、一度取り出し、フォークで何度も掻く。
5. さらに冷凍庫で1時間くらい冷やしてから、器に盛り付けて完成です。



※ 分量
材料
・ヨーグルト 200g
・生クリーム 100ml
・メイプルシロップ 大さじ3

こちらのメニューは、川湯の森病院と同グループの老人ホーム「森の家しらかば」で実際に提供された食事です。
<https://shirakaba.tomoni-ikirukai.jp/>

栄養課だより

10月の行事食は「秋の収穫祭」でした。



世界糖尿病デー（11月14日）

世界糖尿病デーは、2006年（平成18年）に国連総会で正式に認定され、糖尿病の脅威を世界中で認識するための取り組みが行われています。糖尿病に対する認識を高め、予防や治療の重要性を広めるために設けられた国際的な記念日です。11月14日は、インスリンを発見したフレデリック・バンティング医師の誕生日でもあり、その功績を称える意味も込められています。

糖尿病の患者数は全世界で5億3700万人（2021年）にのぼり、年々増加しています。一般的には死に至る病気との認識は低いですが、糖尿病が引き起こす合併症が原因で年間670万人が無くなっています。実に5秒に1人が糖尿病関連の病気は無くなっている計算になります。

世界糖尿病デーでは青い丸（ブルーサークル）がシンボルとして用いられます。それにちなんで、当日は青いライトで建物をライトアップするイベントが各地で行われます。



農園園芸課だより

コーヒーの実が枝がしなって下がるほど鈴なりです。赤くなるのはもう少し先になりそうです。



スタッフ募集中

川湯の森病院では、介護スタッフを募集（ハローワークにて情報公開）しています。介護に興味のある方、一度見学に来てみませんか？

